

第六十四回帝國議會 衆議院

辯護士法改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和八年三月十五日(水曜日)午前十一時九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 星島 二郎君

理事小野寺 章君 理事山本 芳治君

理事一松 定吉君 理事作田高太郎君

磯部 尙君 牧野 賤男君

高橋 泰雄君 宮澤 清作君

紅露 昭君 小林 銚君

内藤 正剛君 横山金太郎君

井上 剛一君

同月十四日委員伊禮肇君辭任ニ付其ノ補闕トシテ井上剛一君ヲ議長ニ於テ選定セリ
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

辯護士法改正法律案(政府提出)

法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律案(政府提出)

○星島委員長 是ヨリ開會致シマス、都合ニ依リ午後一時マデ休憩致シマス

午前十一時十分休憩

午後一時五十分開議

○星島委員長 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス、小委員會ノ經過竝ニ結果ヲ一應全員ニ御報告致シタイト思ヒマス、小委員會ハ數回之ヲ開キ、且東京、大阪其他ノ辯護士會ノ代表者トモ會見シ、慎重審議、左ノ如キ成案ヲ得マシタ、併シ字句ノ修正、其他ハ未ダ整ッテ居リマセヌカラ、各條ニ付テ修正スベキ要點ダケヲ御報告致シマス、辯護士法改正法律案ニ付キマシテハ、第五條ノ一號ヲ「徵役又ハ一年以上ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者」ト修正シ、二號ニ於テ「三年」トアルヲ「二年」ト修正スルコト、第十八條ノ第二項ニ左ノ但書ヲ加フルコト、「但シ他ノ辯護士事務所ニ於テ共同シテ執務スル場合ハ此ノ限ニ在ラス」、第二十條ノ次ニ新シキ條項ヲ加フルコトニナリマシタ、第二十一條トシテ「辯護士又ハ辯護士タリシ者ハ其ノ職務上知得シタル祕密ヲ保持スル權利ヲ有シ義務ヲ負フ但シ法令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」、ソレカラ第二十六條ノ「帝國議會」ノ次ニ「公共團體」ノ文字ヲ入レルコト、末項ノ「營利ヲ目的トスル法人」ノ次ニ「業務執行社員又ハ取

締役トナリ」ノ字句ヲ入レルコト、第三十八條中六號ヲ抜クコト、第四十四條ノ「停止シ又ハ辯護士會ノ解散ヲ命スルコトヲ得」トノ文字ノ中デ停止以下ヲ削除シテ「其議事ヲ停止スルコトヲ得」ト改ム、四十四條ノ修正ノ結果、四十九條ノ第三號ヲ削除、第五十條ノ中「又ハ之ニ解散ヲ命ジ」ノ文句ヲ削除スルコト、辯護士法改正法律案ニ付キマシテハ、大體只今申シテヤウナ條ヲ修正スベシトノ意見ガ纏リマシタ——一寸速記ヲ待ッテ下サイ

〔速記中止〕

○星島委員長 ソレデハ速記ヲ始メマス、一寸御報告致シマスガ、第五十五條ニ付テハ削除ノ説モアリ、存置ノ説モアリ、未ダ是ガ決定ニ至リマセヌ、辯護士法改正法律案ニ付キマシテハ大體右申シタ通りデアリマシテ、法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、第一條ニ於テ「代理、仲裁」ノ前ニ「鑑定」ノ二字ヲ加フルコト、第三條ノ「辯護士」ノ次ノ「事務所」ト云フ三字ヲ削リ、末文ノ「事務所ヲ設クル」ノ七字ヲ削ルコト、以上ノ修正ノ點ニ付キ

マシテ政府ト色々内談ヲ致シタ所ニ依リマスレバ、五十五條ト、第五條ノ一號ヲ除クノ外ハ、大體修正ニ同意ノ内示ヲ與ヘラレテ居リマス、小委員會ノ經過ハ大體右申シタ通りデアリマス、此段御報告ヲ致シマス

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
辯護士法改正法律案(政府提出)
法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律案(政府提出)

○小野寺委員 動議ヲ提出致シマス、小委員會ニ於ケル未決ノ問題ニ付テ、「更ニ小委員會ヲ御開キニナリ、サウシテ其結果ヲ委員會ニ報告セラレンコトヲ望ミマス、其爲ニ今日ハ委員會ハ是デ散會ヲ致シマシテ、明日午前十時カラ委員會ヲ開イテ、小委員會ノ結果ヲ聽イテ本案ニ對スル決定ヲスルヤウニ致シタイト思ヒマス

○星島委員長 小野寺君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○星島委員長 御異議ナシト認メマス、ソレデハ明午前十時ヨリ委員會ヲ開キマス、今日ハ是ニテ散會致シマス
午後二時三十一分散會

昭和八年三月十五日印刷

昭和八年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所